

日刊木材新聞

発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都江東区冬木23-4
編集 営業 ☎03-3820-3500
FAX03-3820-3519
総務 販売 ☎03-3820-3511
FAX03-3820-3518
http://www.n-mokuzai.com/
eメール info@n-mokuzai.com
購読料 1ヵ月 6,000円
©日刊木材新聞社 2013
本紙の無断複製(コピー・PDF)配布
は、著作権の侵害にあたり違法です。

木になる情報
発信中
木材建材ウィワリー
Japan Lumber Reports

屋根、外壁、雨といのケイミュー

KMEW
ケイミュー株式会社
(旧 クボタ松下電工外装株式会社)
www.kmew.co.jp/

外皮・設備の仕様基準と 簡易計算法まとまる

1月末に告示された新しい住宅・建築物の省エネルギー基準について、12日に経済産業省で開かれた合同会議で、外皮・設備の仕様基準及び簡易計算法がまとまった。今後、パブリックコメントを経て、住宅の省エネルギー基準と同じく、10月に施行される予定だ。

改正省エネルギー基準

開口部比率大なら仕様強化

新しい省エネルギー基準は、外皮(躯体)の断熱性能を、建築物全体の一次エネルギー消費量を基準として示している。これらを一棟平均熱貫流率UAで表現し、UAが小さいほど断熱性能が高い。UAは開口部の面積に比例する。開口部比率が大きい場合は、断熱性能を確保するために、開口部の仕様を強化する必要がある。今回の改正では、開口部比率が大きい場合、開口部の断熱性能を、従来の基準よりも高めに設定する。また、開口部の断熱性能を確保するために、開口部の断熱性能を、従来の基準よりも高めに設定する。また、開口部の断熱性能を確保するために、開口部の断熱性能を、従来の基準よりも高めに設定する。

開口部については、開口部比率が大きい場合は、開口部の断熱性能を、従来の基準よりも高めに設定する。また、開口部の断熱性能を確保するために、開口部の断熱性能を、従来の基準よりも高めに設定する。また、開口部の断熱性能を確保するために、開口部の断熱性能を、従来の基準よりも高めに設定する。

集成杉・松・唐松

各県産材ご用命下さい
TSC株式会社 ティ・エス・シー
〒292-0838 千葉県木更津市潮浜2-1-53
TEL/0438-37-0206 FAX/0438-37-2349
ホームページ http://www.syusei-tsc.com

開口部比率が大きい場合は、開口部の断熱性能を、従来の基準よりも高めに設定する。また、開口部の断熱性能を確保するために、開口部の断熱性能を、従来の基準よりも高めに設定する。また、開口部の断熱性能を確保するために、開口部の断熱性能を、従来の基準よりも高めに設定する。

開口部比率が大きい場合は、開口部の断熱性能を、従来の基準よりも高めに設定する。また、開口部の断熱性能を確保するために、開口部の断熱性能を、従来の基準よりも高めに設定する。また、開口部の断熱性能を確保するために、開口部の断熱性能を、従来の基準よりも高めに設定する。

CLTは欧州の木造高層建築などに使われている集成材パネルで、日本でもさきごろJAS規格案がまとまり、実用化に向けた準備が進められている。耐震性が高く、施工が合理的なうえ、材料自体が断熱材を含んだパネルの役割を果たしており、中高層のRC、S造の需要を取り込めると期待されている。

CLT、設備CADの開発へ 反動減対策として「総合化」

反動減対策として「総合化」

同社では欧州の加工機にCAD/CAM対応するソフトの開発に着手しており、既に参入を計画する製造メーカーやプレカット、建

設会社との打ち合わせが進んでいる。CLTのプレカットは設備配管や電気配線の穴開けが不可欠で、構造と設備の設計

が同時に求められる。既存の工法でも大手のソフトウェア等では、プレカットの穴開けが難しく、精度も低く、コストも高くなる。同社は木造軸組や2X4の設備CADの実用

化も計画している。「いまやほとんどの構造図はプレカットが作成しているが、図面と現場の整合性が重視される非住宅物件等で

る「祖父江社長」は、プレカット工場に対して新分野の提案を強化する。新たな工法として来夏の公開を目指してCLT・CADの開発を進めるほか、施工面での機能拡張として電気・配管などの設備CADも開発する。いずれも複数の大手需要家が注目しており、プレカットの新たな領域として普及する可能性がある。消費税引き上げ後の反動減対策を「総合化」と位置付け、積極的に提案する。

主な記事

- ▽2面 DKSHジャパン CLTによる住宅パネル工場見学
- ▽3面 建材商況
- ▽4、5面 東海版 地域プレカット工場
- ▽6面 統計・指標
- ▽7面 会社特集 キーテック創業55年 構造用LVLで次世代建築を担う

省エネ等級に 等級5を検討

会議ではこのほか、住宅性能表示基準に改正内容を反映させる検討案も報告された。現行の性能表示では省エネルギー対策等級は次世代省エネ基準相当が等級4で最高レベルとなっている。省エネ基準改正に伴い、13年施行の省エネ基準相当を等級4とするほか、低炭素基準相当を等級5とする案が検討されている。内容は今後審議され、経過措置も含め改正対応に必要な期間が設けられる予定だ。

祖父江社長は「プレカットは今後、一段と

AWAJI Prefloor System

最新技術を結集した防振ゴム
プレフローア®Eシリーズ
高性能・低コスト!!
淡路技建株式会社
TEL.029-873-4702 FAX.029-874-4075
http://www.awaji-giken.co.jp

日本の伝統色

季節の色を愛で、その組み合わせや微妙な違いを愉しんできた日本人。そんな日本人が大切にしてきた豊かな色彩のなかから、いまの暮らしによく映える色を床材に取り入れました。国産樟ツキ板に3柄、国産栗ツキ板に4柄をご用意しています。

紺鼠色 (konjuzukuro)
桜色 (sakura-iro)